



# 奄美市立 芦花部小中学校

児童生徒数 44人  
学級数 5クラス



テーマ

ふるさとを愛し、自分を愛し、他人を愛する児童生徒の育成  
～へき地・小規模校の特長を生かして～

## 研究に当たって(テーマ設定の理由)

本校の課題は、自己肯定感を高めることである。

学校は、地域とのつながりが強く、郷土教育は自然、文化の面でとても充実している。

郷土教育を充実させながら、人権感覚が高められる取組を行えば、自己肯定感が高まるのではないかという仮説の下、上記のテーマを設定した。

## 研究スケジュール

6月23日(火) 奄美自然講話(講師招聘)  
ハンセン病問題を正しく理解する週間  
(授業・講話)  
8月3日(月)校内職員研修(講師招聘:県指導主事)  
11月16日(月)教育相談アンケート・職員研修  
(北朝鮮拉致問題)  
12月18日(金)人権週間・人権教室・職員研修・家庭教育  
学級(講師招聘:県指導主事)  
12月24日(木)奄美群島日本復帰の講話  
1月9日(土)奄美の方言格言かるた大会  
2月18日(木)人権コンサート

## 特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

### □ 奄美自然講話

奄美の自然をテーマにした講話を聞くことで、郷土愛を深めるとともに、身近な自然のよさに気付く素晴らしさを伝えられ、併せて、身近な友だちのよさに気付くことの大切さも学ぶことができた。

### □ 奄美の方言格言かるた大会

奄美に伝わる格言が方言で書かれた「かるた」を用いて「かるたとり大会」を行うことで、郷土愛を深めるとともに、前向きに生きていく教訓に多数ふれる機会となった。

### □ 人権コンサート

奄美出身のデュオNana(大野正喜さん・萩原きよみさん)をお招きし、人権・命の尊さをテーマとしたコンサートを開催した。人権や命の尊さに対するメッセージが込められた歌詞に触れ、人権感覚を高めることができた。



【奄美自然講話】



【奄美の方言格言かるた】

## 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 小規模校のよさを生かし、様々な行事を全児童生徒対象で行い、その後、発達段階に応じて担任が価値付けを行うことで、自己肯定感の高まりが見られた。
- コロナ禍において社会が大きく変容し、人権教育の重要度が増した1年であった。これからも、社会の動向に合わせた人権教育が必要であり、改めて学び続けていくことの大切さを感じた。